



決算説明会

2022年12月期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

株式会社アイ・エス・ビー

Part 1

2022年12月期 決算概要

売上高**289**億円
営業利益**23**億円
営業利益率**8%**

4期連続の過去最高業績

Part 2

中期経営計画の進捗

成長する金融分野で
ITソリューションを提供

顧客ニーズに応える
製品・サービスを提供し
ソリューション事業を創出

グループ全体でエンジニア
育成やリモート開発を推進

Part 3

経営資源・経営基盤

ISBグループの成長の歩み

持続的に成長し
永続する企業へ

agenda

Part **1** 決算概要

Part **2** 中期経営計画の取組み

Part **3** 社会とともに成長する
ISBグループ

FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

2022年12月期連結損益計算書



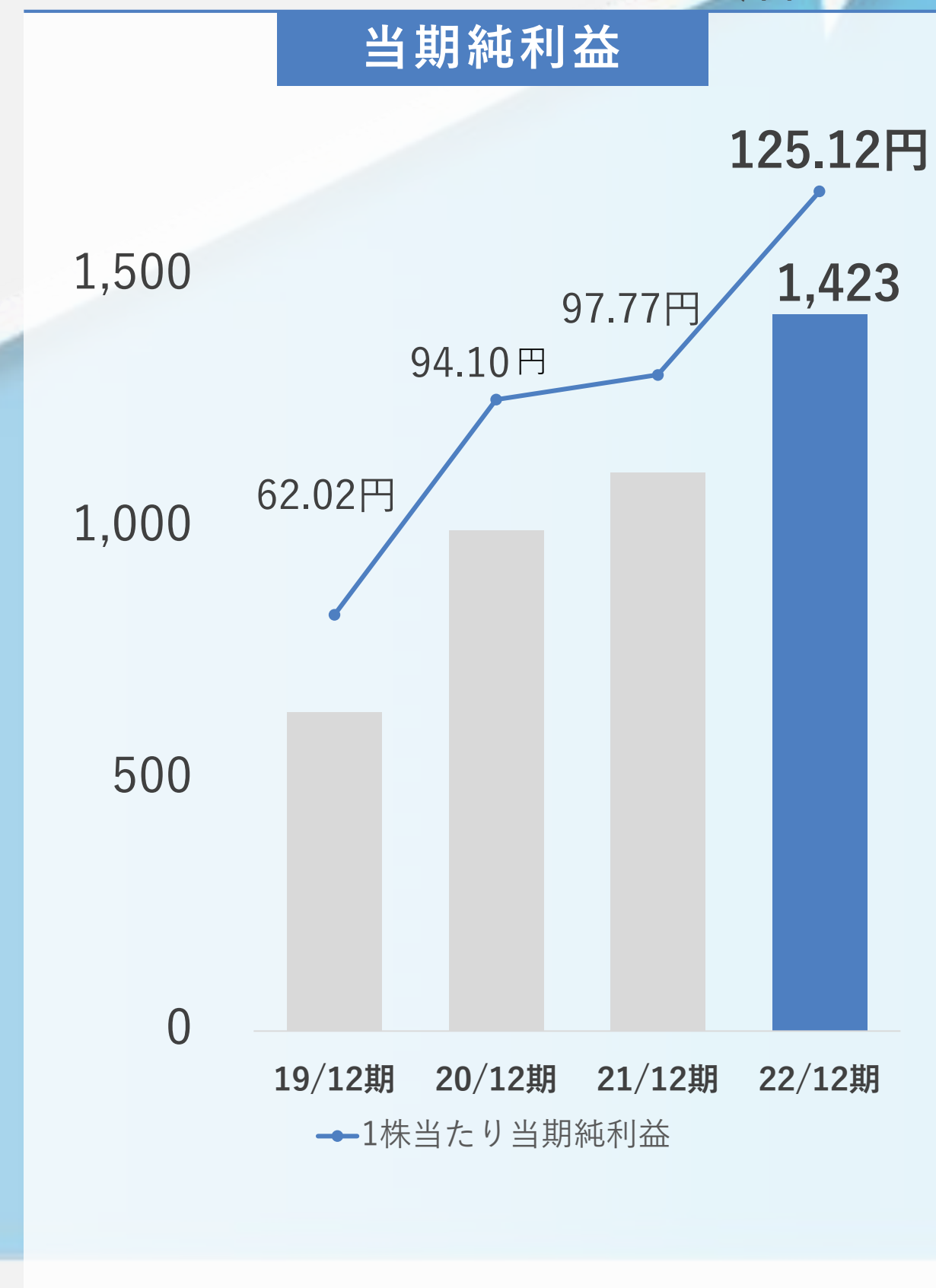
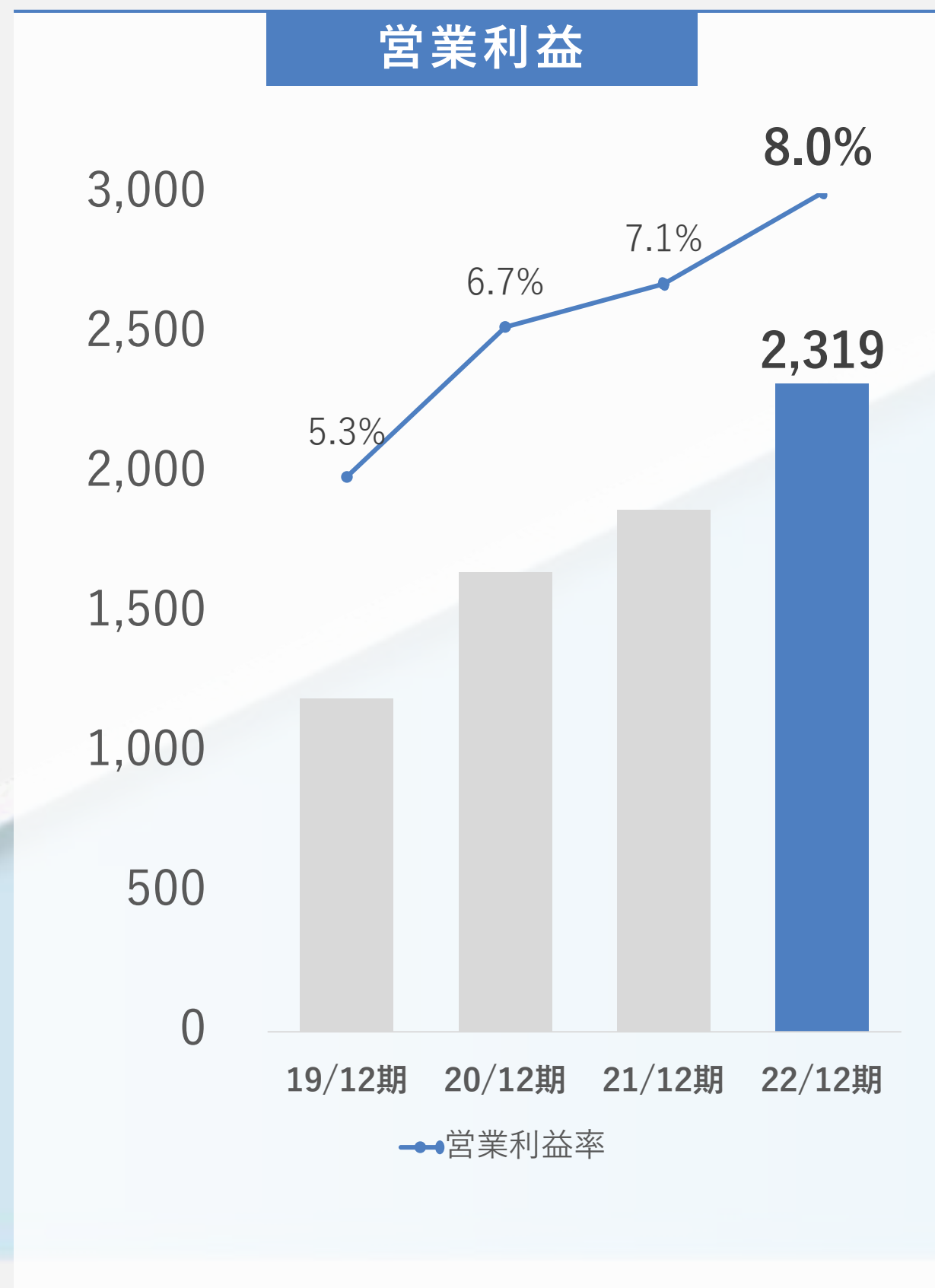
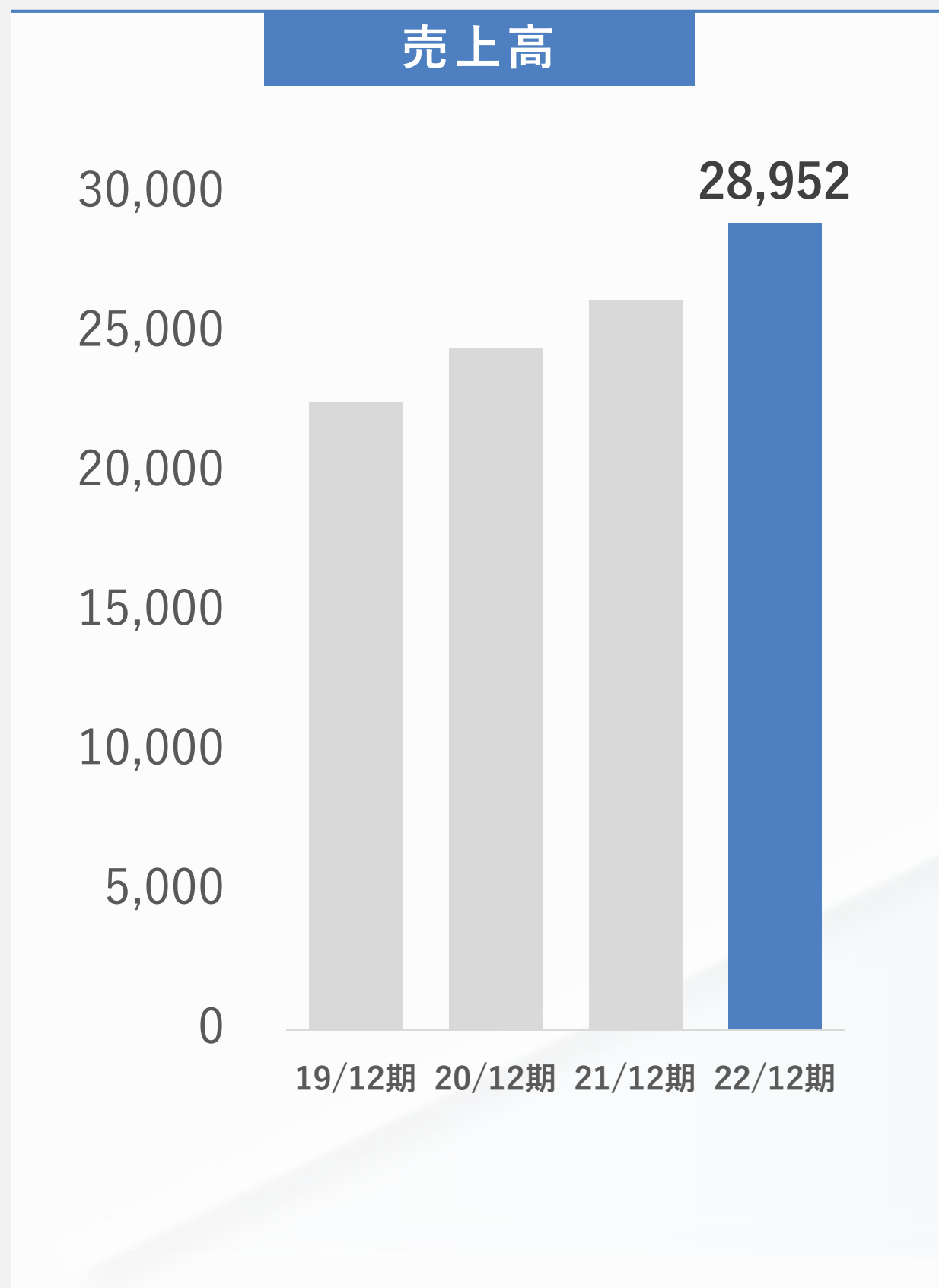
過去最高売上高・営業利益を更新

(単位：百万円)

	2021年 12月期実績	2022年 12月期実績	前期比	増減	2022年 12月期計画	計画比
》売上高	26,176	28,952	111%	+ 2,776	28,673	101%
》営業利益	1,869	2,319	124%	+ 450	2,286	101%
》営業利益率	7.1%	8.0%	+ 0.9pt	-	8.0%	-
》経常利益	1,940	2,401	124%	+ 461	2,353	102%
》親会社株主に帰属する当期純利益	1,110	1,423	128%	+ 313	1,404	101%
》1株当たり当期純利益(単位：円)	97.77	125.12	128%	+ 27.35	123.28	101%

7期連続増収、6期連続増益

(単位：百万円)



ISBグループの事業分野

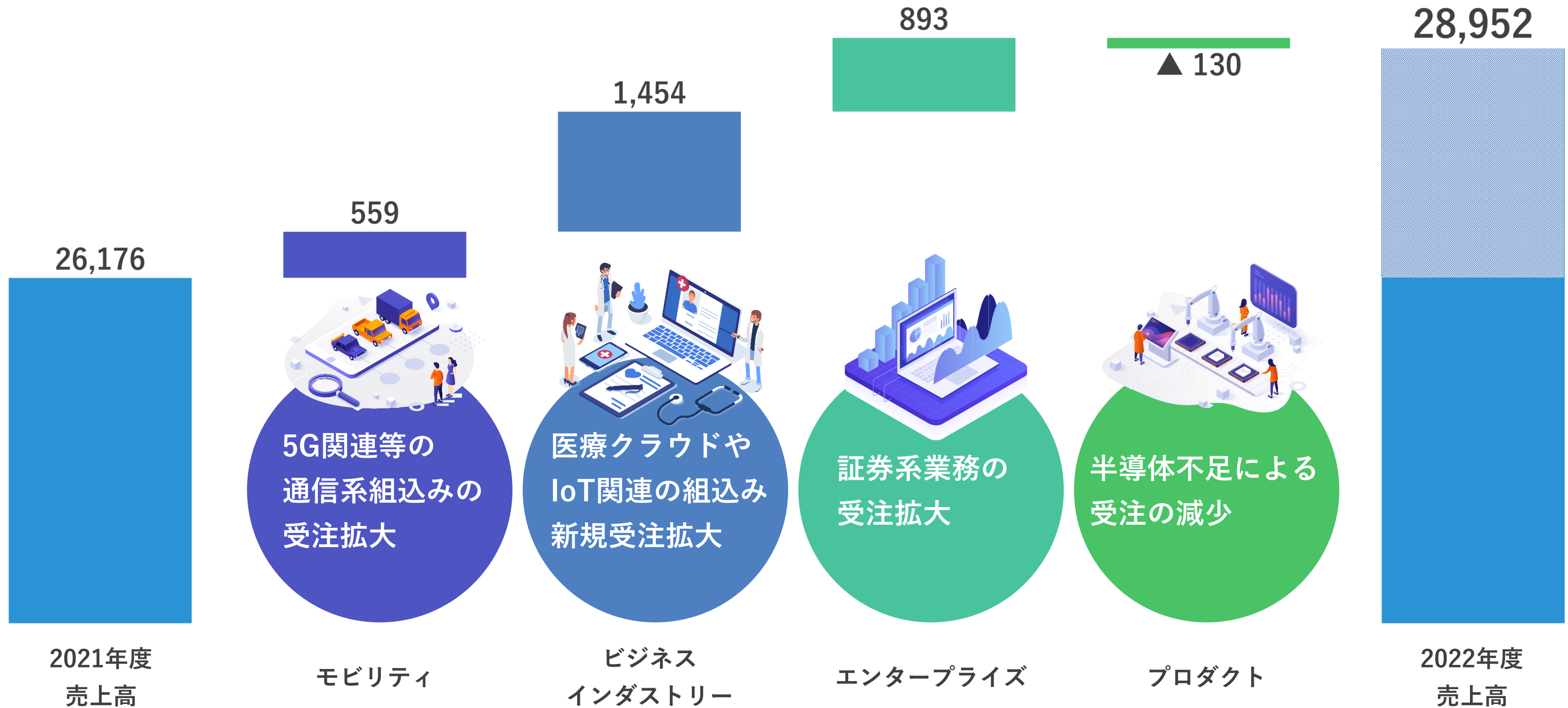


当社グループは、様々な業界に向けて、多岐に渡る開発分野、様々な製品・サービスを提供し、幅広いビジネスフィールドが強みです。

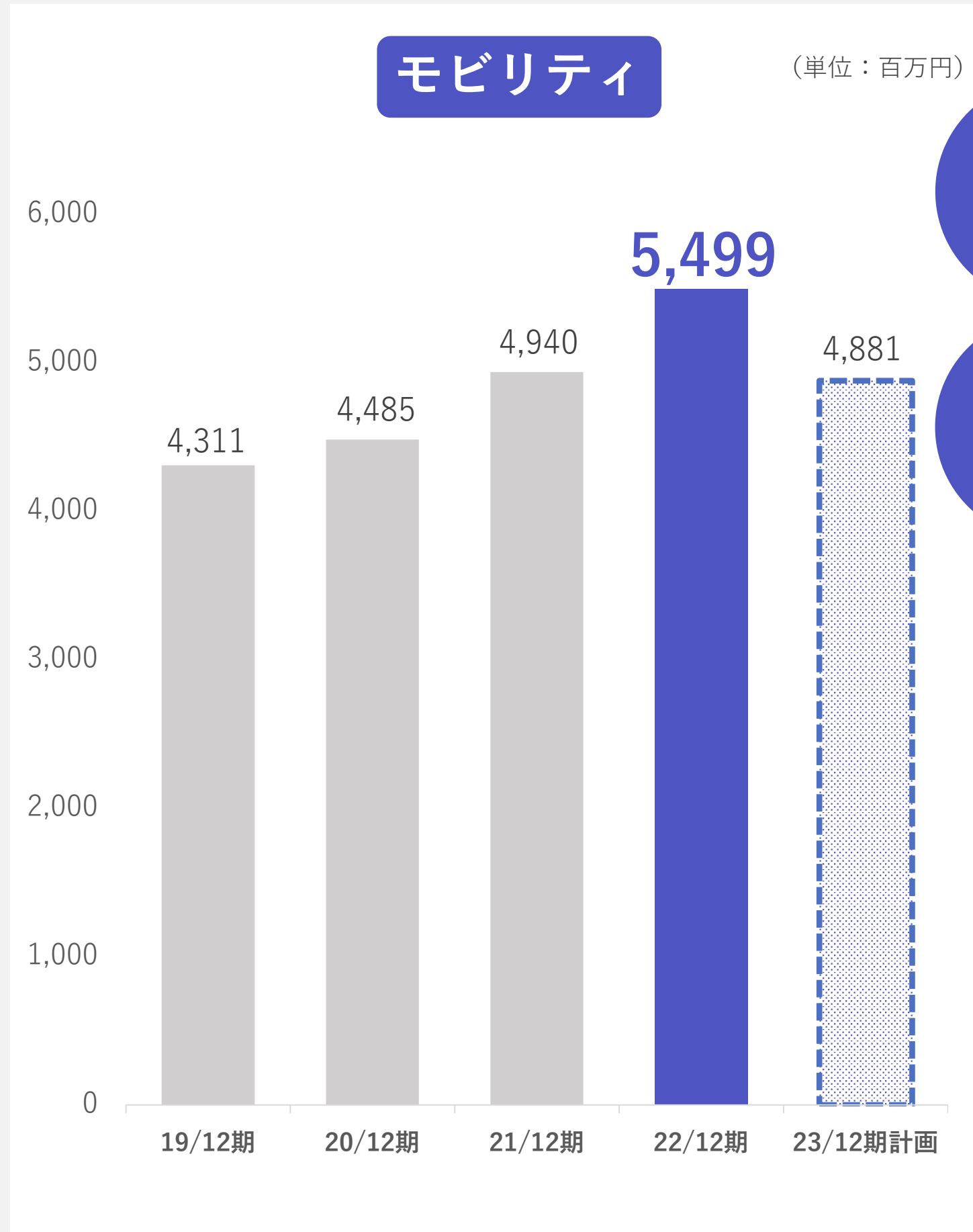


連結売上高の増加要因

(単位：百万円)



事業分野別売上高の推移



前期比
111%

計画比
109%

2022年実績

車載

EV関連やステアリング系の新規顧客から受注獲得。メーター系を中心に既存顧客の受注が漸増。

モバイルインフラ

5G関連は通信系組込み案件により、新規顧客を取り込み、増収。既存顧客の基地局開発は縮小。

移動無線端末

コンテンツアプリ開発は堅調に推移し、増収。端末系は当初縮小見込みも相応に受注あり横ばい。

2023年見通し

車載

前期より継続して受注が見込まれるほか、新規に車載用OS関連の受注拡大を狙う。

モバイルインフラ

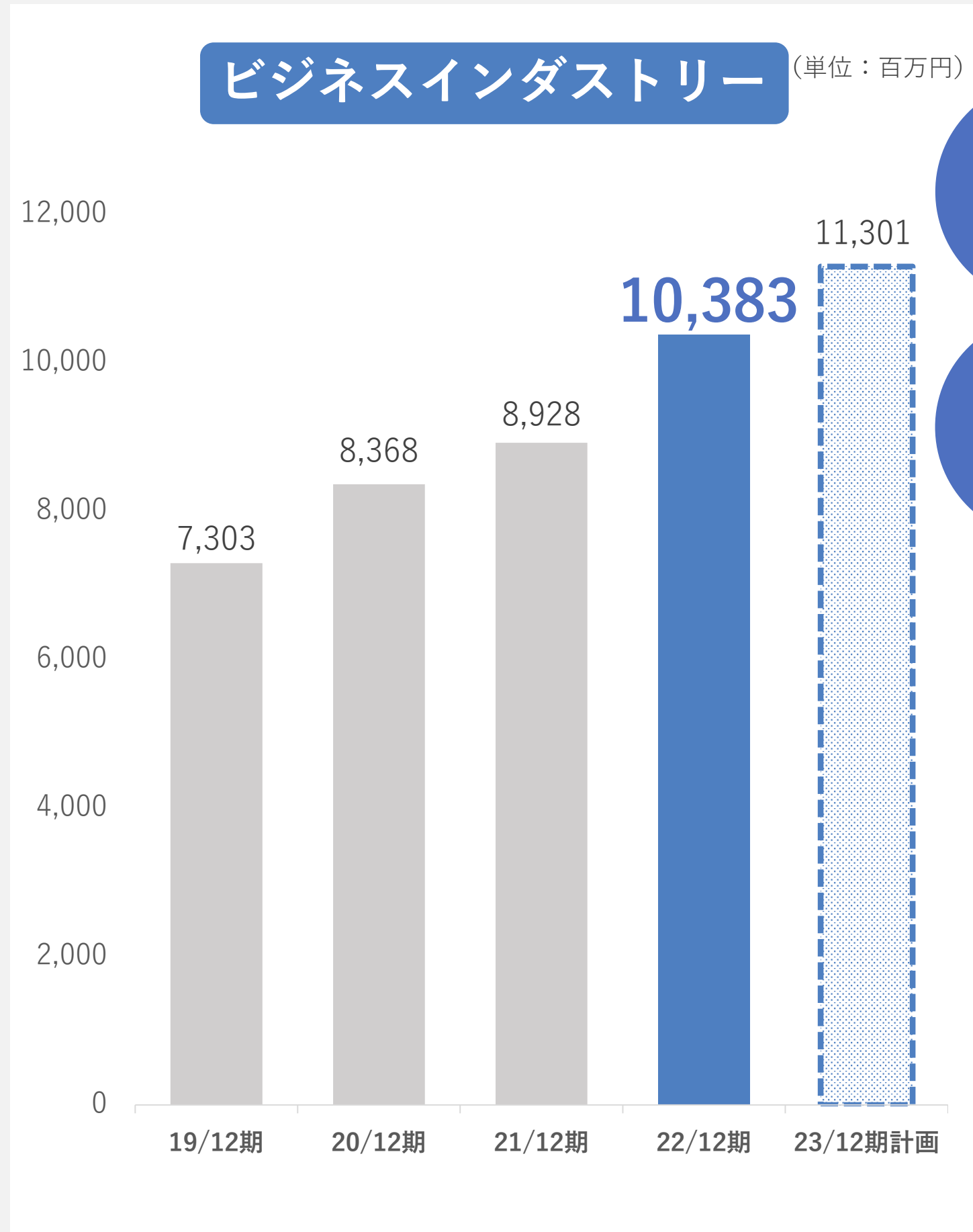
5G関連のピークアウトにより、他の通信系組込み案件への取り組みを推進。

移動無線端末

端末系は縮小見込み。モバイルデバイスOS技術を活かした案件へのシフトを推進。



事業分野別売上高の推移



前期比 **116%**
計画比 **97%**

2022年実績

業務システム

DX需要により、既存顧客からの受注も堅調。基幹システム刷新等のプライム案件並びに、医療クラウド案件の新規受注獲得。

組込み開発

IoTクラウド系のシステム開発並びに、メーカー系の医用画像・AV家電のシステム開発の受注増加。

2023年見通し

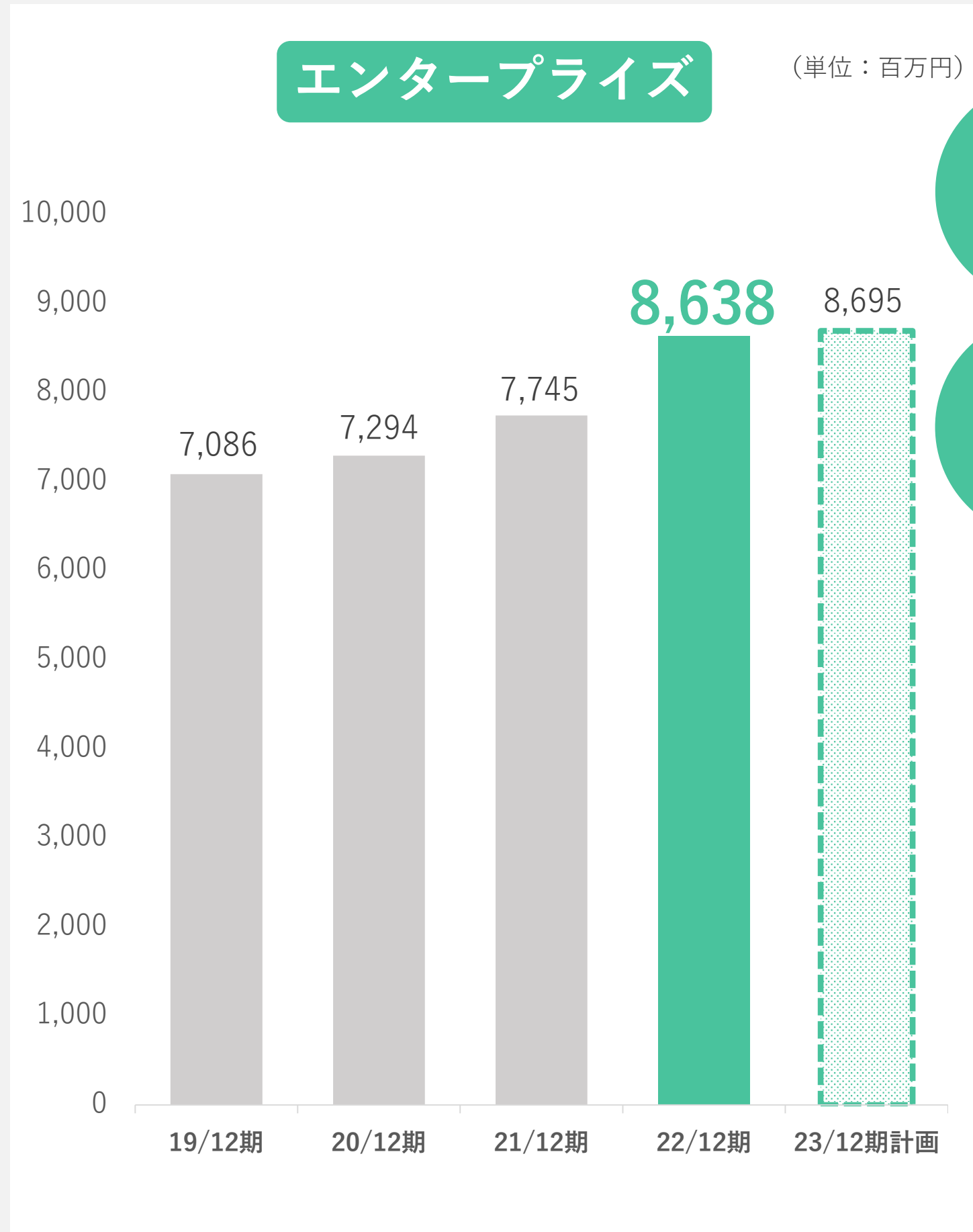
業務システム

DX需要により基幹システム刷新等のニーズに対応するプライム案件に注力し、受注増加見込み。

組込み開発

IoT関連のシステム開発、AV機器や家電のシステム開発の受注増加見込み。AI関連業務やデバイス関連の新規受注を計画。

事業分野別売上高の推移



2022年実績

金融・公共

証券系の主要顧客の案件が大幅増加。
公共系の業務は、メーカー経由の新規顧客の受注獲得で堅調に推移。

ITインフラ

サーバネットワーク機器更改の案件が半導体不足の影響を受け受注が減少。
運用保守業務は、堅調に推移。

2023年見通し

金融・公共

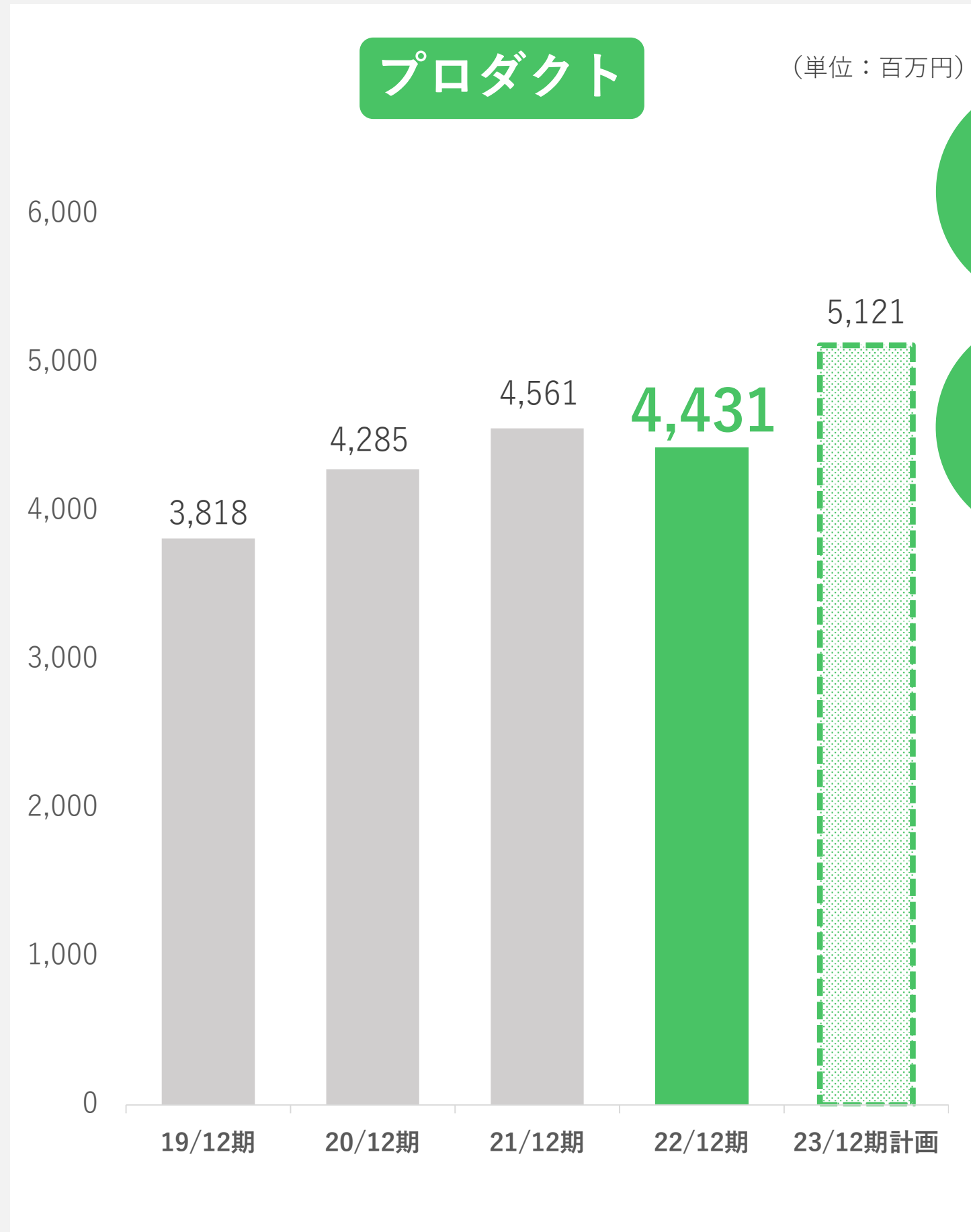
引き続き、証券系の主要顧客から案件受注拡大見込み。
公共系の業務は、新規顧客の受注拡大を狙う。

ITインフラ

インフラ構築事業は半導体供給の回復が進み、機器更新を伴う大型案件の再開やクラウド環境へ移行案件を中心に受注拡大狙う。



事業分野別売上高の推移



前期比
97%

計画比
102%

2022年実績



セキュリティシステム事業

半導体不足の影響にて主要製品欠品による販売機会の逸失が響いた。ただ、入手可能な完成品の販売や、スマートキー（ALLIGATE）及び建設現場用カードリーダー（イージーパス）等のリカーリング収益の伸長で、減収幅を計画内に抑制。



MDM事業

4月より販売から保守までワンストップサービスの提供。機能向上と営業強化で増収。

2023年見通し

セキュリティシステム事業

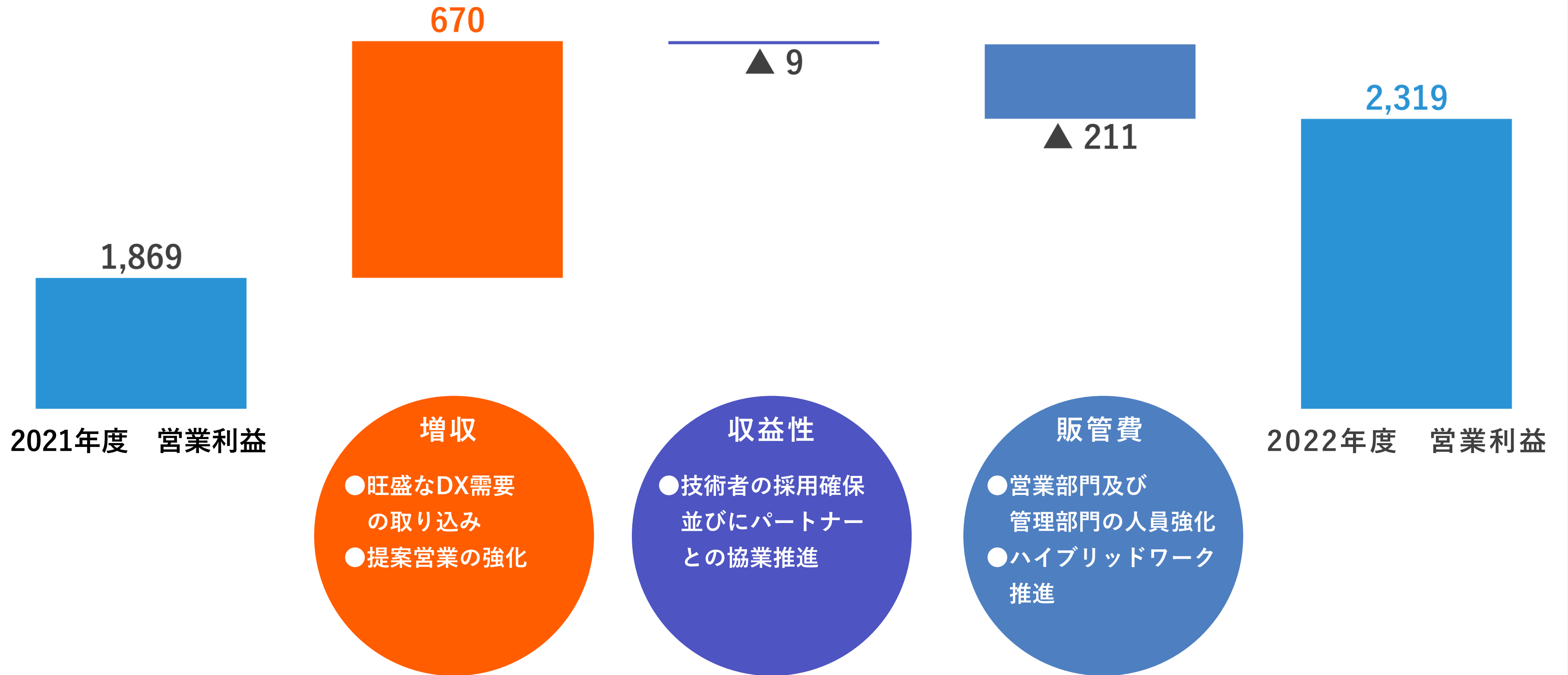
部品供給は回復基調だが、引き続き、半導体不足の影響を受けない製品群の販売を推進。また、リカーリング収益の更なる伸長により増収を見込む。

MDM事業

セキュリティ強化やキitting等の顧客ニーズに応えるサービス向上により増収見込み。

連結営業利益の増減要因

(単位：百万円)



2022年12月期第2四半期 連結貸借対照表



● 資産の増加

増収による現預金、売上債権、商品の増加

● 負債・純資産の増加

増収に伴う買入債務の増加
増益による内部留保の積み上げ

● 自己資本比率

64.9%

(単位：百万円)

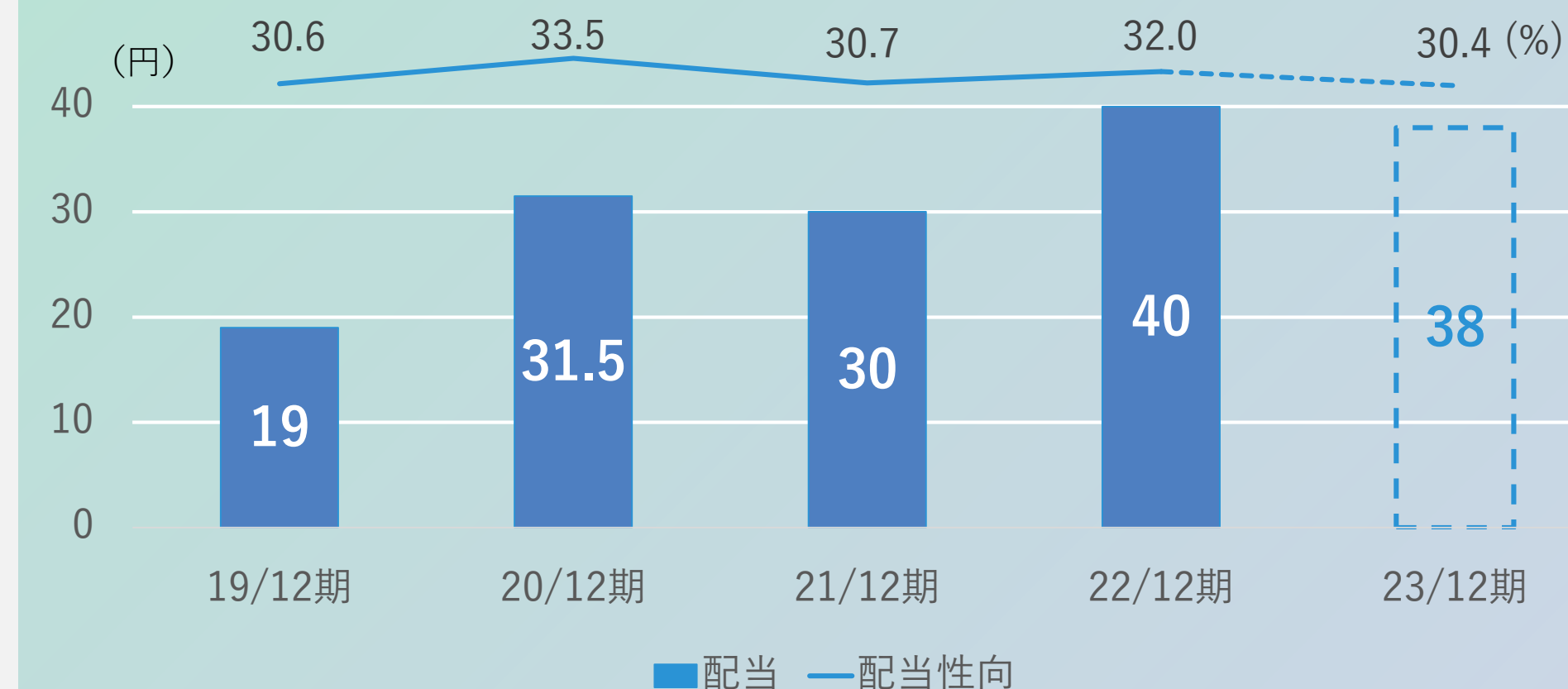
資産の部		
	2021年12月期	2022年12月期
流動資産	11,613	14,034
固定資産	2,748	2,424
有形固定資産	991	1,004
無形固定資産	756	394
投資その他の資産	1,001	1,025
資産合計	14,361	16,458

負債・純資産		
	2021年12月	2022年12月期
流動負債	4,223	5,231
固定負債	580	544
負債合計	4,803	5,775
株主資本	9,415	10,545
その他の包括利益累計額	142	137
純資産合計	9,557	10,682
負債・純資産合計	14,361	16,458

業績予想

売上高	300 億円
営業利益	24 億円
経常利益	24.3億円
当期純利益	14.4億円

配当・配当性向予想



	2021年実績	2022年実績	2023年予想
配当	30円	40円	38円
配当性向	30.7%	32.0%	30.4%

※2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

agenda

FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

Part **1** 決算概要

Part **2** 中期経営計画の取組み

Part **3** 社会とともに成長する
ISBグループ

方針

新しい一歩 ~ move up further ~

新生ISBグループ創出に向け、今までの50年の更なる進化と新たな領域への挑戦でより多くのお客様にソリューションを提供できる企業を目指す。

2023年度グループ目標

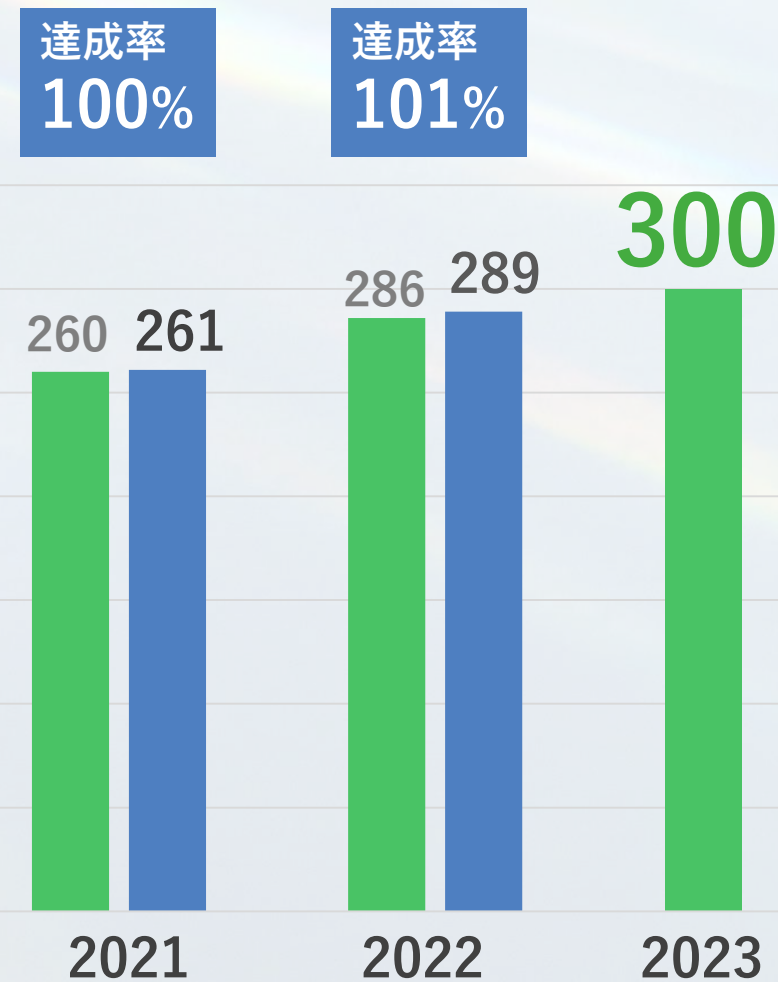
売上高 **300**億円

営業利益 **24**億円

営業利益率 **8%**

売上高の推移

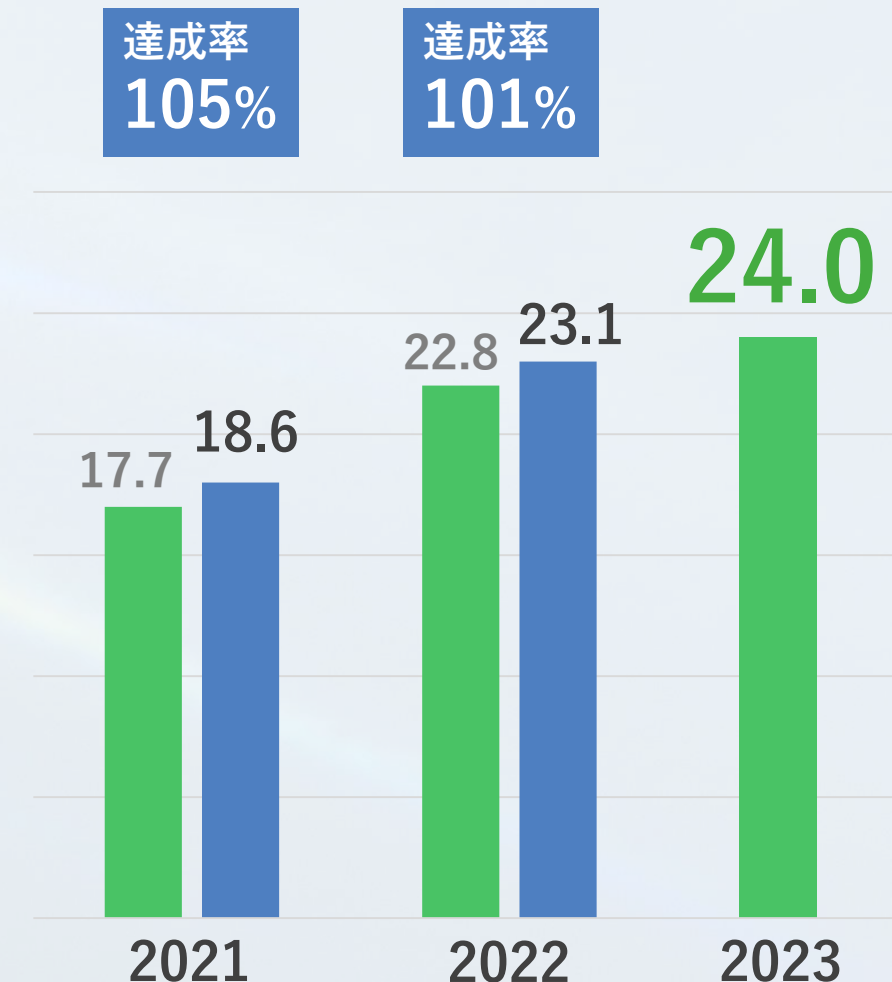
(単位：億円)



■ 計画 ■ 実績

営業利益の推移

(単位：億円)



■ 計画 ■ 実績

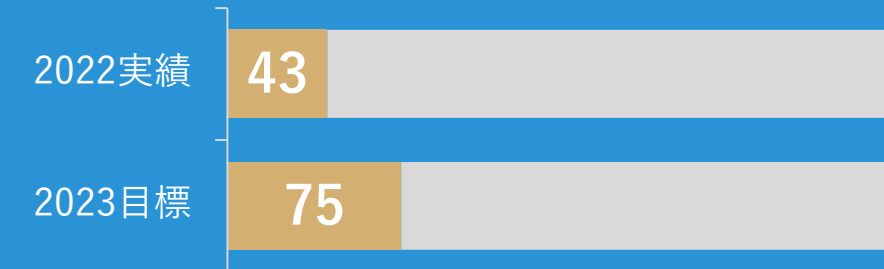
重点戦略と取り組み

1

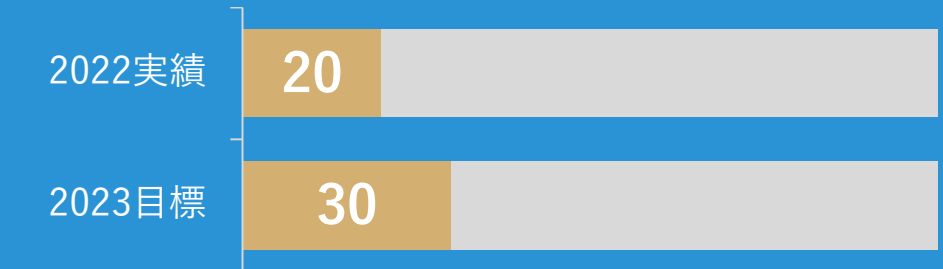
顧客開拓、有望分野の拡大

提案営業強化のための体制構築により
有望分野の5G関連、車載、モビリティサービス、
医療、業務サービスに注力

KPI：新規顧客売上高（億円）



KPI：有望分野売上高比率（%）

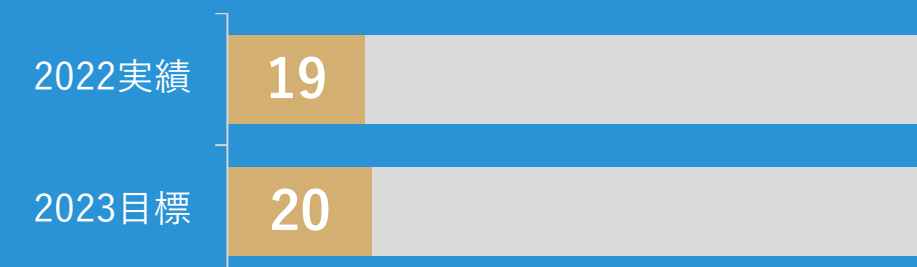


2

ソリューション事業の創出

ソリューションパートナーとの連携及び、
共同開発から、高付加価値ソリューションの
提供により、プライム案件を獲得

KPI：ソリューション売上高比率（%）

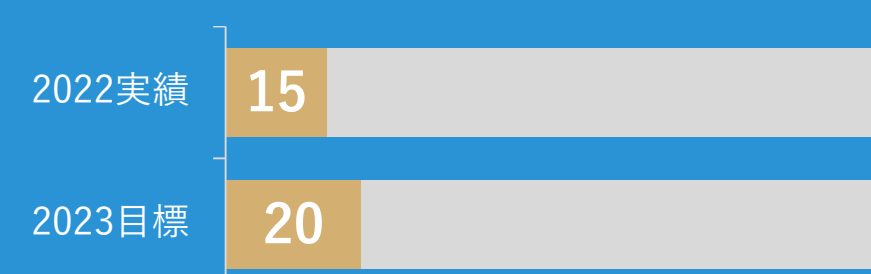


3

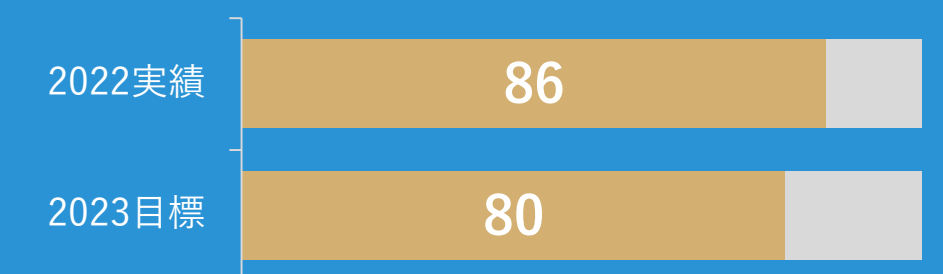
グループ経営強化

首都圏の受注案件に対し全国のグループ会社の
地域拠点においてリモート開発を推進
人的資本への投資として採用や社員育成を強化

KPI：ニアショア比率（%）



KPI：オフショア比率（%）



重点戦略1

顧客開拓、 有望分野の拡大

- › 大和証券グループ様
- › 新たな有望分野の拡大

変化・成長する金融・証券分野でITソリューションを提供

DXが進む証券分野において、大和証券グループとの取引は30年を超え、ホストコンピュータ時代の基幹システムの構築から、クラウド対応による分散化が進む現在まで、株式や債券、投資信託、NISA等さまざまな商品に対応するシステム構築を支援。これらのシステムのアップデートに係るITソリューションを提供し、同社グループの持続的な成長に貢献し続けている。



重点戦略2

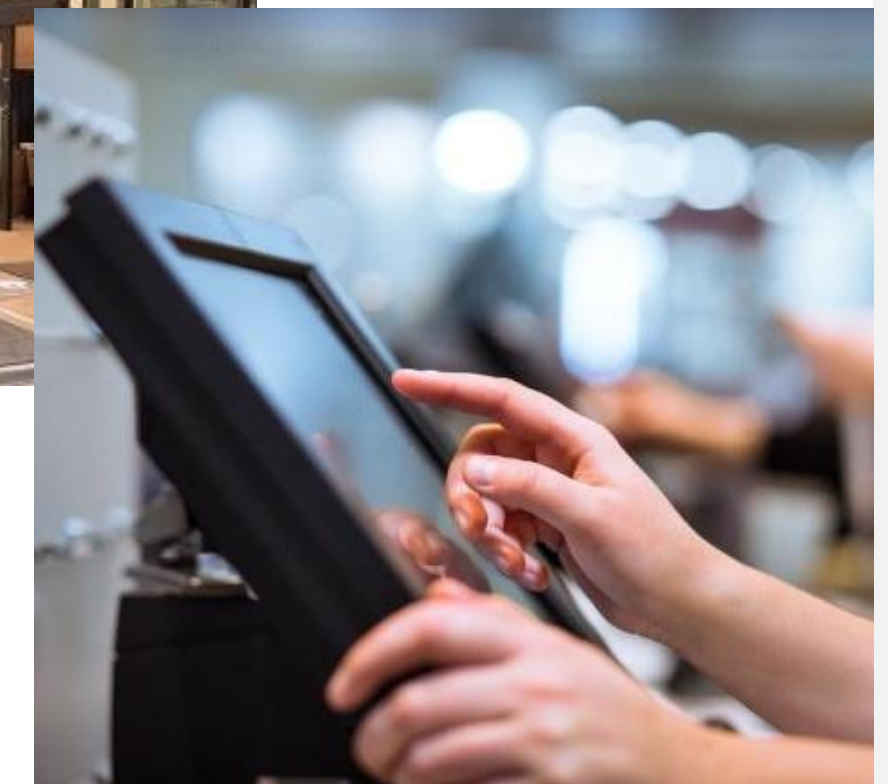
ソリューション 事業の創出

- › キンコーズ・ジャパン様
- › 共同開発からプライム案件を獲得

お客様と共に考えてDXの推進をサポート

キンコーズ・ジャパン様の業務のヒアリングから
きめ細かくニーズを吸い上げ、ソリューションを提案。
ソリューションパートナーのYSK e-com様とともに
柔軟なカスタマイズにより、
接客業務支援機能を搭載した POS システムを開発。

複雑化する POS 業務の生産性向上、他の各種システムへの
連携とともにお客様へのサービス向上へ貢献。



重点戦略2

ソリューション 事業の創出

▶セキュリティ強化を実現

VECTANT SDM によるデバイス管理および、Harmony Mobile によるエンドポイントセキュリティの新サービスを提供し、より強固なデバイス管理を実現しています。

※2022年12月時点



VECTANT SDM が Harmony Mobile と連携
新たなモバイルセキュリティサービス提供へ

▶防犯カメラの映像をマルチに活用

1台のカメラを「映像監視」のほかに「顔認証」や「属性分析」「車両ナンバー認証」など汎用性のあるカメラシステムとして活用。スマート管理を実現しています。

※2022年12月時点



サッポロ不動産開発と「AI 顔認証」技術による
ビル管理システムを共同開発『GINZA PLACE』へ導入

重点戦略3

グループ経営強化

- 》ベトナムや国内地域拠点のグループ会社においてリモート開発を推進
- 》人的資本への投資として社員育成や採用をグループで強化

▶ リモート開発

海外ではベトナム、国内では札幌、仙台、福岡に拠点を有するグループ会社が、首都圏で受注した案件をリモート開発するスキームによりフレキシブルな開発環境で顧客ニーズに応えます。



▶ 技術教育・採用戦略の共有

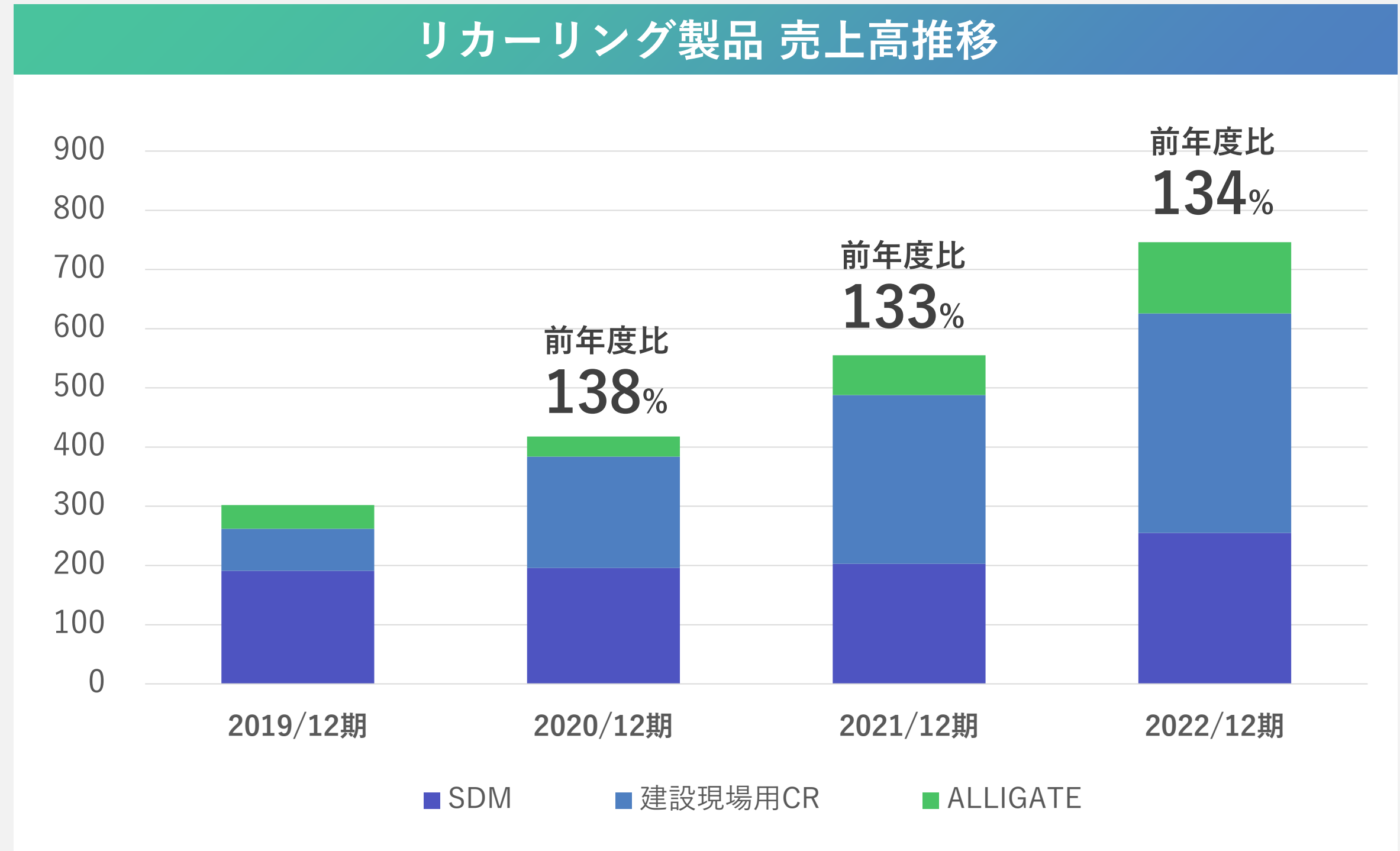
- ・ラーニングシステムで、未経験の中途採用者やグループ各社の新入社員の技術教育を推進。
- ・リソース不足に対応し、グループ間のノウハウ共有による採用強化。



リカーリング製品の収益

SDM、建設現場用カードリーダー、ALLIGATEの3製品により、
 每期30%超の伸び率で着実に増収

(単位：百万円)

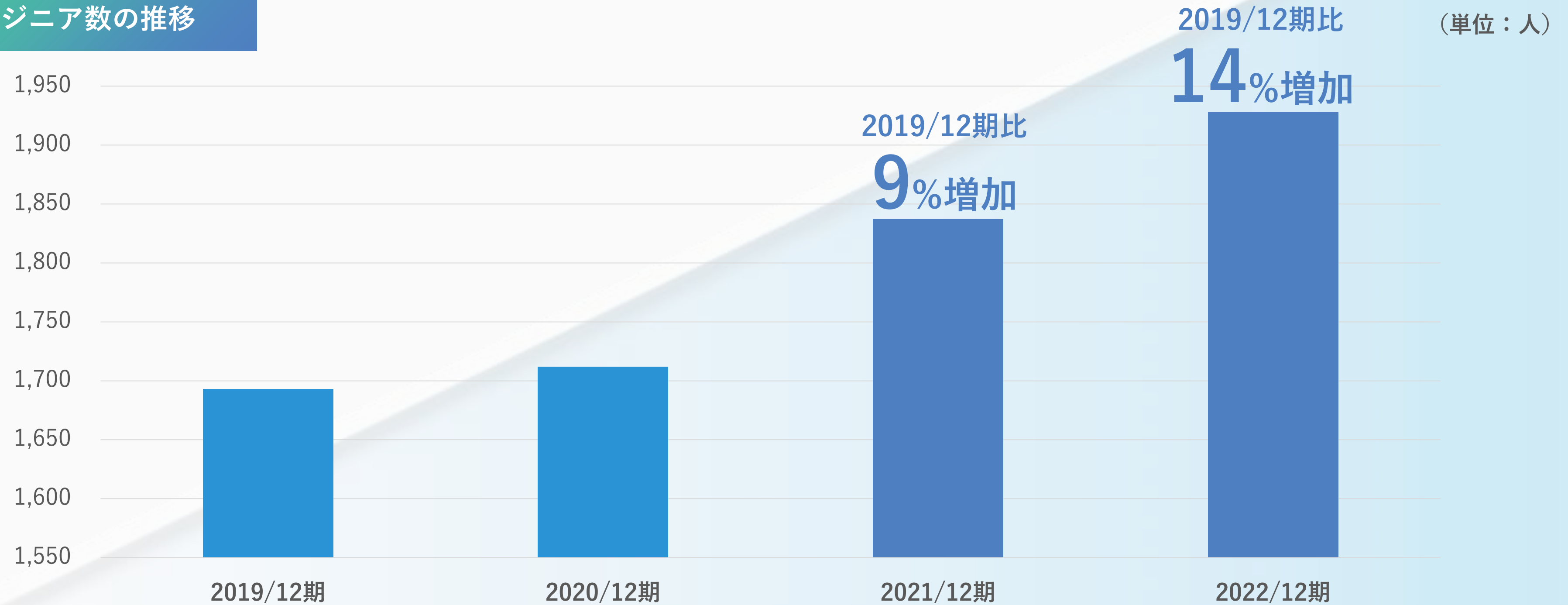


連結エンジニア数の推移



連結エンジニア数も業績の伸長と共に、着実に漸増
中期経営計画開始前の2019年度比は14%増加

エンジニア数の推移



注：有期雇用を含む(ビジネスパートナーは除く)

agenda

FINANCIAL
RESULTS
BRIEFING

Part **1** 決算概要

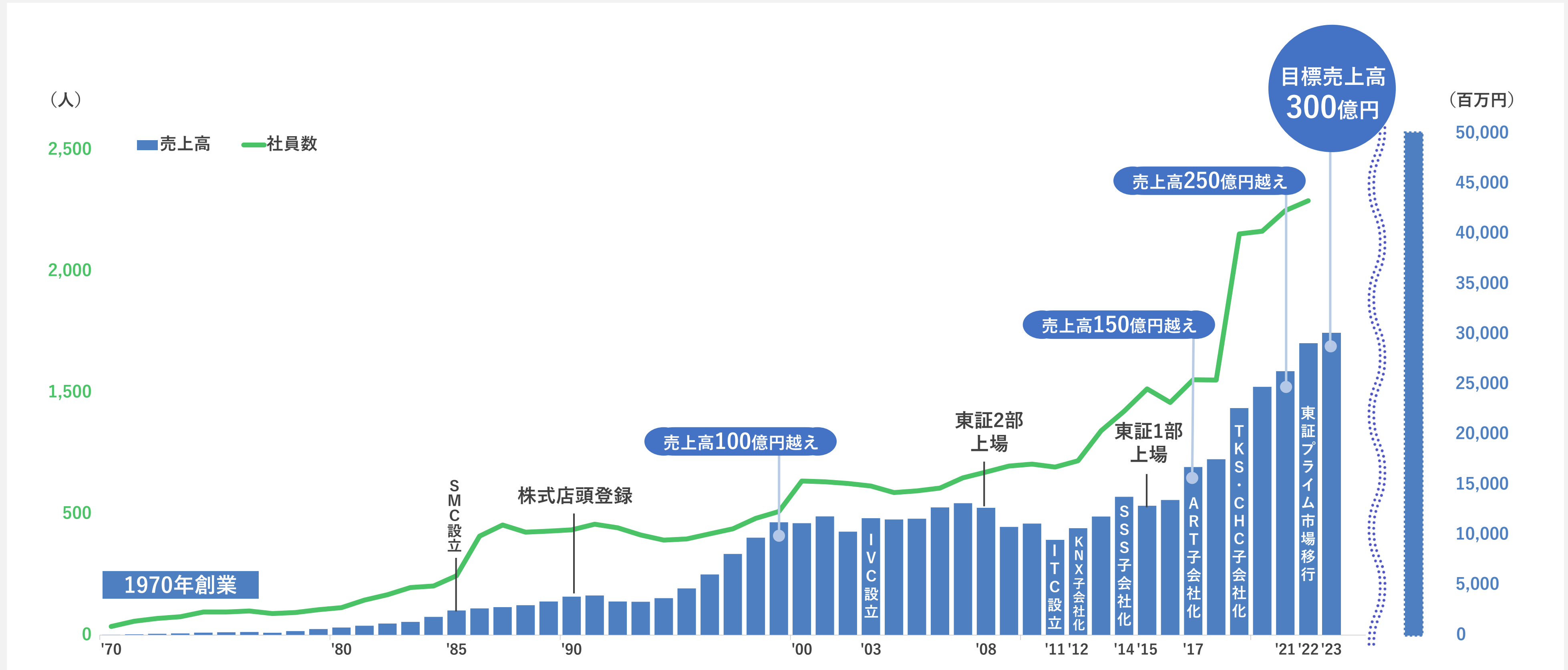
Part **2** 中期経営計画の取組み

Part **3** 社会とともに成長する
ISBグループ

ISBグループ成長の歩み

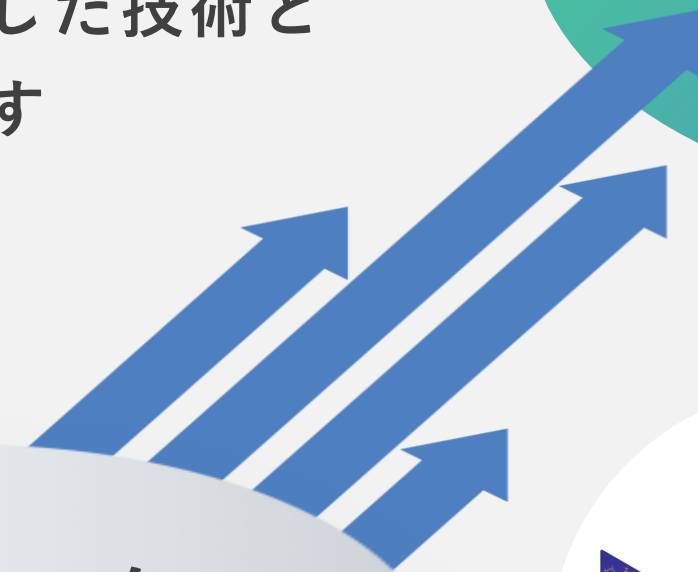
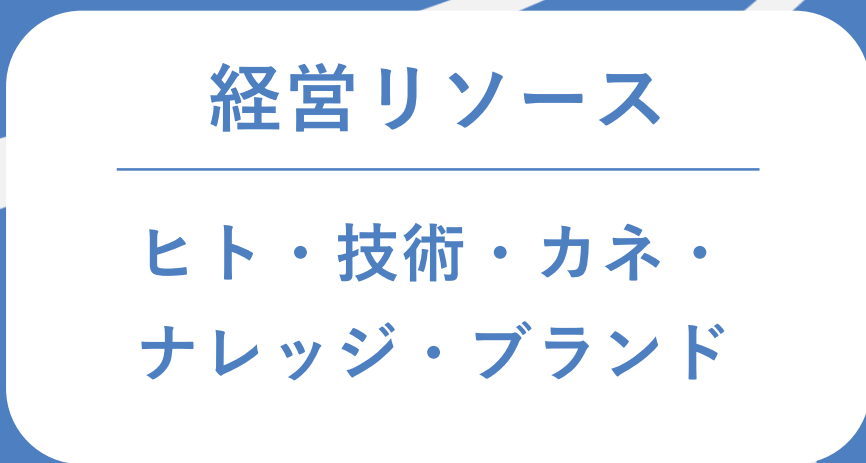
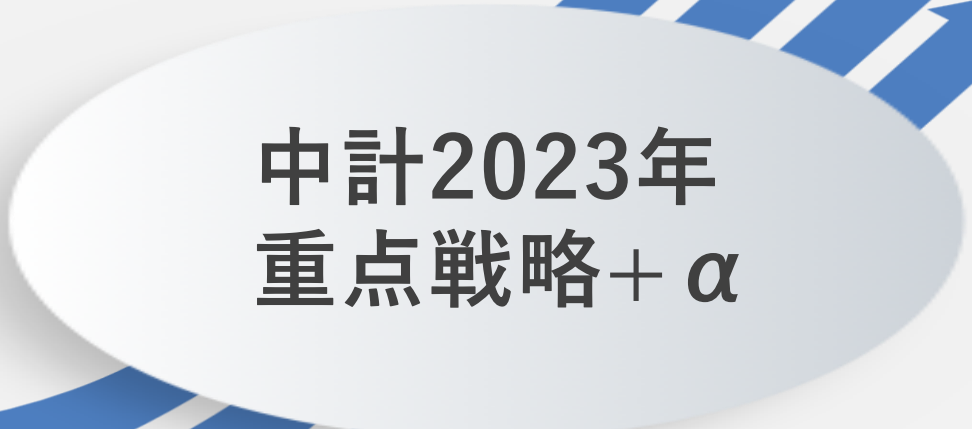


安定した事業基盤と、戦略的なM&Aによる成長により、事業を拡大。



持続的に成長し、永続する企業へ




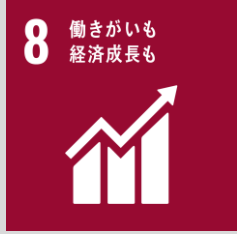


私たちアイ・エス・ビーグループは卓越した技術と魅力ある製品・サービスで心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献します。



サステナビリティ経営の推進

ISBグループの技術力や知恵で、
誰もが幸せになれる社会づくりへ貢献

- › 知恵とITの融合による、未来につながる製品・サービスの提供
- › 従業員が成長し続け活躍できる、また多様性のある職場環境の実現
- › 攻めと守りを両立させるコーポレート・ガバナンス
- › 環境負荷の低減に向けた事業活動の推進

テーマ	取り組み実績例	対応するSDGs項目															
 <p>● 環境負荷を低減する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電力の使用量の削減等 	<p>グループ各社は環境負荷低減に取り組み中（以下実績の一例）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>消費電力 (MWh)</th> <th>2021年</th> <th>2022年</th> <th>増減</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISB及びグループ会社3社</td> <td>788</td> <td>730</td> <td>-58</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>新設・拡張</td> <td>0</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	消費電力 (MWh)	2021年	2022年	増減	削減率	ISB及びグループ会社3社	788	730	-58	8%	新設・拡張	0	27	27	-	 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>
消費電力 (MWh)	2021年	2022年	増減	削減率													
ISB及びグループ会社3社	788	730	-58	8%													
新設・拡張	0	27	27	-													
 <p>● 社会に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダイバーシティの推進 働き方改革として多様性のある職場環境 ・ 若手技術者の育成を支援 ・ 社会貢献並びに人道支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代の座談会の取り組みなどワークライフバランスを推進 ・ わーくはぴねす農園事業の運営 ・ あおとこども食堂への野菜の寄贈 ・ 全国高等専門学校プログラミングコンテストへの特別協賛 ・ グループ各社から国連UNHCR、ジャパンプラットフォームへの寄付 	 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>															
 <p>● コーポレートガバナンスに関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株主価値向上、ガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立社外取締役増員（新たに2名の独立社外取締役を選任） ・ 譲渡制限付株式報酬制度の執行役員への導入 ・ サステナビリティ委員会の設置 	 <p>16 平和と公正を すべての人に</p>															

ISBグループ企業理念

夢を持って
夢に挑戦

Mission

私たちアイ・エス・ビーグループは
卓越した技術と魅力ある製品・
サービスで心豊かに暮らす
笑顔溢れる社会づくりに貢献します。

Vision

時代の変化に適応し、
知恵とITの融合により、
未来を切り拓く新たな価値を創造します。

Value

誇り 誠実 挑戦



© ISB CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

本資料は、2022年12月期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2022年12月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。